

市町村名		北谷町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	北谷町観光物産プロモーション事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ		
担当部署	建設経済部 観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開		
事業内容	北谷町の知名度を一層向上させ、本町への観光客誘客推進と観光資源である地域特産品の効果的なPR及び販路拡大支援を図るため、県外等において、誘客プロモーション事業を展開する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,000	12,121	9,714	11,872	8,600
		(b) 予算現額	10,000	12,121	7,959	11,872	8,600
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 1,755	0	0
		(d) 繰越額	0	0			0
		A. 計(b+d)	10,000	12,121	7,959	11,872	8,600
	B. 執行済額		8,939	12,097	7,292	10,967	8,600
	うち交付金充当額		7,000	9,000	2,933	8,773	6,880
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		89.4%	99.8%	91.6%	92.4%	100.0%
予算の状況の説明		当初の計画のとおり、事業を執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	国内プロモーション	目標	( 2カ所 )	( 2カ所 )	( 1カ所 )	( 1カ所 )	
		実績	2カ所	2カ所	1カ所	1カ所	
	海外プロモーション	目標	( 3カ所 )	( 2カ所 )	( 2カ所 )	(      )	
		実績	3ヶ所	2カ所	0カ所		
	プロモーション動画撮影	目標	(      )	( 動画制作 )	(      )	(      )	
		実績		動画制作完了			
	デジタルプロモーション	目標	(      )	(      )	(      )	( 動画制作・SNS等情報発信 )	
		実績				実施	
ファムトリップツアー	目標	(      )	(      )	( 実施 )	(      )		
	実績			未実施			
多言語対応窓口の設置、多言語観光情報パンフレット等の制作等	目標	( 多言語窓口設置パンフレット制作 )	( 多言語窓口設置パンフレット制作 )	( 多言語窓口設置パンフレット制作 )	(      )		
	実績	( 多言語窓口設置パンフレット制作完了 )	( 多言語窓口設置パンフレット制作完了 )	( 多言語窓口設置パンフレット制作完了 )			
修学旅行発信等強化業務	目標	(      )	(      )	(      )	( 修学旅行フェア2ヶ所(東京・大阪) )		
	実績				未実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内プロモーションについては当初の予定どおり1カ所実施した。</li> <li>デジタルプロモーションについては当初の予定どおり動画を制作し、当動画を用いてSNS等で本町の情報発信を行った。</li> <li>修学旅行発信等強化業務については既存コンテンツのブラッシュアップ(強化)やデジタルパンフレットの作製等に遅れが生じ、修学旅行フェアへは不参加となった。</li> </ul>						

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値 (年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値 (年度)	
	観光情報センター利用者数98,900人 (うち外国人利用者数65,000人)	目標	( )	( )	76,760人 (55,332人)	98,900人 (65,000人)	( )	( )
		実績	/	/	63,665人 (37,508人)	7,220人 (641人)	/	/
	多言語職員を窓口を設置し、対応した外国人満足度(80%以上)アンケートにより、本事業の在り方について検証する。	目標	( )	( )	80%	80%	( )	( )
		実績	/	/	82%	100%	/	/
	観光情報サイト(北谷日常ポータルサイト)閲覧回数	目標	( )	( )	( )	( )	150,000	( )
		実績	/	/	/	/	118,504	/
	北谷町修学旅行発信等強化業務の完了(修学旅行フェア2ヶ所(東京・大阪))	目標	( )	( )	( )	( )	2ヶ所	( )
実績		/	/	/	/	0ヶ所	/	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内プロモーションについては当初の予定どおり1ヶ所実施した。</li> <li>デジタルプロモーションについては当初の予定どおり動画を制作し、当動画を用いてSNS等で本町の情報発信を行った。</li> <li>修学旅行発信等強化業務については、修学旅行フェアへは不参加となったが、既存コンテンツのブラッシュアップ(強化)やデジタルパンフレットの作成等は実施したため、今後、関係団体等と連携して修学旅行客をより本町へ誘客できるよう取り組む。</li> </ul>							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>(観光情報サイト(北谷日常ポータルサイト)閲覧回数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目標値に届かなかった原因として、新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントが中止となったことで観光サイトの更新頻度が少なくなったことや、デジタルプロモーションにおいて直接観光サイトへ誘導するような取り組みがなされなかったことが原因と考えられる。</li> </ul> <p>(北谷町修学旅行発信等強化業務の完了(修学旅行フェア2ヶ所(東京・大阪)))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目標値に届かなかった原因として、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた関係団体との調整にかなり時間を要したことが原因と考えられる。</li> </ul>	<p>(観光情報サイト(北谷日常ポータルサイト)閲覧回数)</p> <p>現在、観光地の情報を取得する場合はインターネットから情報を取得することが主流である。そのため、デジタルプロモーション等の効果を観光情報サイトを通して測定する場合は、観光情報サイト内の情報にアクセスするような仕組みづくりを行う必要がある。また、デジタルプロモーションの効果測定の手法として、キーワード分析も行うことができるため、今後は直接的に効果測定ができるような仕組みを取り入れていく必要がある。</p> <p>(北谷町修学旅行発信等強化業務の完了(修学旅行フェア2ヶ所(東京・大阪)))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当事業においては、関係団体との連携が必要不可欠であるため、事業執行に当たっては新型コロナウイルス感染症の影響等の事情を考慮し、必要があれば事業計画の変更を検討する。</li> </ul>

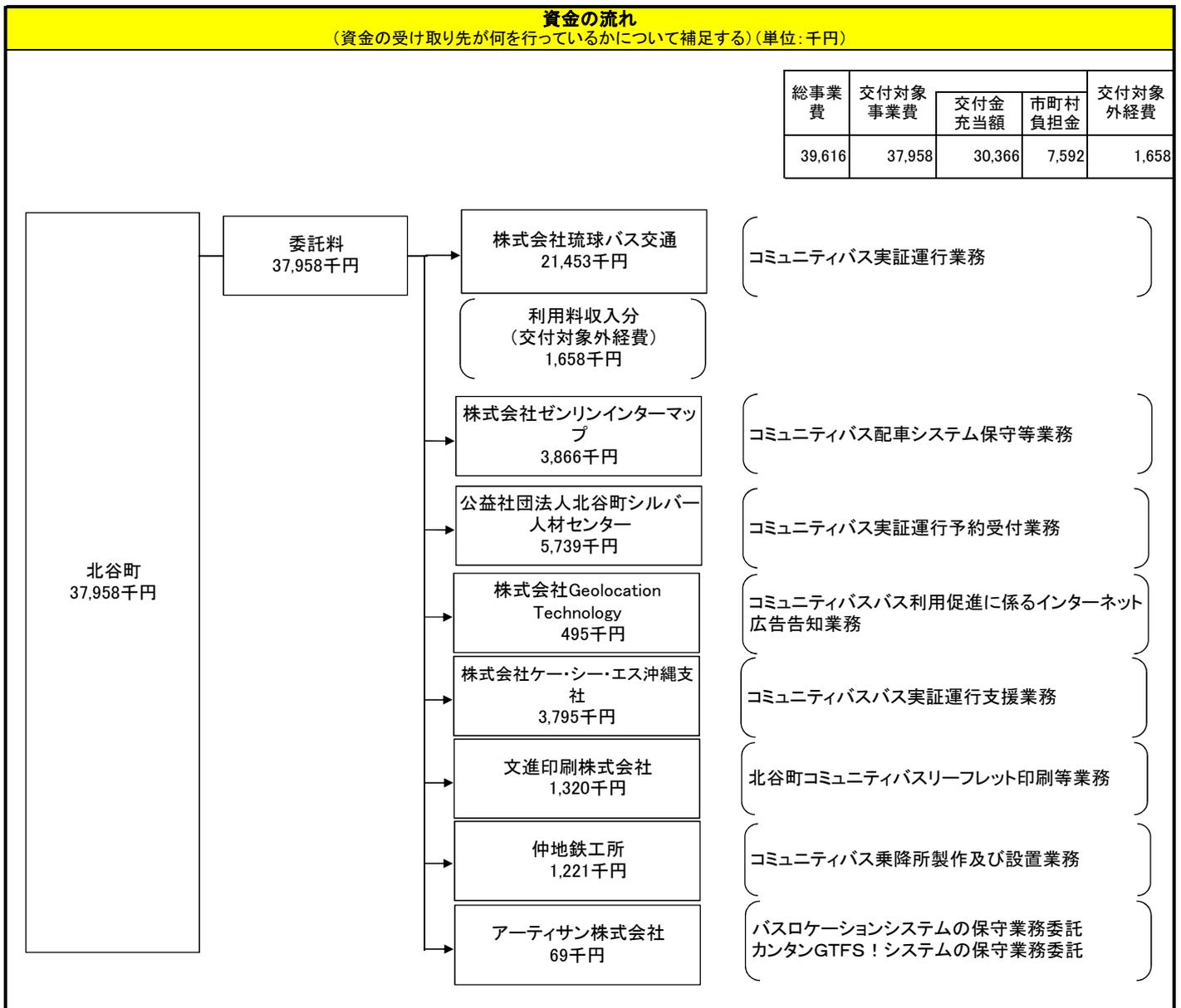
今後の取り組み方針
<p>(観光情報サイト(北谷日常ポータルサイト)閲覧回数)</p> <p>・今後は、新型コロナウイルス感染症の影響によりインバウンドを対象としたプロモーション活動はまだ難しいため、国内需要の一つである「ワーケーション」の本町への取り込みを図る。事業実施に当たっては、観光情報サイトを經由する仕組みを作り、事業の効果測定をわかりやすい形で測れるようにする。</p> <p>(北谷町修学旅行発信等強化業務の完了(修学旅行フェア2ヶ所(東京・大阪)))</p> <p>既存コンテンツのブラッシュアップやデジタルパンフレットの作成等は実施したため、今後、関係団体等と連携して修学旅行客をより本町へ誘客できるよう取り組む。</p>

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	8,600	8,600	6,880	1,720	0
<pre> graph LR     A[北谷町 8,600千円] --&gt; B[委託費 8,600千円]     B --&gt; C[有限会社アイディー・ブランド 8,600千円]     C --&gt; D[北谷町観光物産プロモーション企画運営業務]           </pre>					

資金の流れ、点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、プロポーザル審査委員会で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模で確保されており、妥当であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業の目的を達成するためには最小限必要不可欠なものであったことから、適正であったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北谷町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-②	コミュニティバス導入調査検討事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(7)-ウ		
担当部課名	総務部 企画財政課	事業実施(予定)年度	平成26~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	人に優しい交通手段の確保		
事業内容	観光客や町内交通弱者の利便性・回遊性の向上を図るため、観光施設や商業施設等を周遊するコミュニティバスの実証運行を行う。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	47,656	48,902	37,126	38,616	55,618	
		(b) 予算現額	37,476	35,030	33,329	23,275	55,618	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 10,180	▲ 13,872	▲ 3,797	▲ 15,341	0	
		(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)		37,476	35,030	33,329	23,275	55,618	
	B. 執行済額		33,088	33,749	30,871	21,253	37,958	
	うち交付金充当額		26,300	26,500	24,696	16,943	30,366	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		88.3%	96.3%	92.6%	91.3%	68.2%	
予算の状況の説明		不用額10,698千円については、コミュニティバス運行业務の入札残及び公共交通会議委員報酬の未執行によるもの。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	本格運行または廃止あるいは実証期間の延長を判断する。		目標 (      実施      )	(      実施      )	(      実施      )	(      本格運行等判断      )		
	実績		実施	実施	実施	実証期間延長		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスの実証運行を路線定期運行から区域運行へ変更し実施した。</li> <li>・実証運行の調査として利用者アンケートを行った。</li> <li>・実証運行の報告として運行支援業務における報告書を作成した。</li> <li>・実証期間延長とした。</li> </ul>							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	バス利用者に利便性・回遊性の向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標 (      )	(      80%      )	(      80%      )	(      80%      )	(      )	
			実績	/	59.20%	61.69%	85.50%	/
	地域公共交通会議にて、令和4年度からの本格運行または廃止あるいは実証期間の延長の合意を得るためのデータを収集する。		目標 (      )	(      )	(      )	収集	(      )	
			実績	/	/	/	収集	/
	収支率25%以上を目指す。		目標 (      )	(      10%      )	(      25%      )	(      25%      )	(      )	
		実績	/	8.07%	9.70%	5.20%	/	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの満足度については、①予約方法、②運行時間帯、③定時制、④運賃の項目ごとに集計しており、その平均値より算出している。区域運行に切り替えたことで、利用者の満足度は高まっており、目標値を達成している。</li> <li>・収支率については、昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響を受け利用者の減少がみられ、また、区域運行に切り替えたことで運行経費が増加しており、収支率は改善されず、目標値に達していない。</li> </ul>							

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(利用者の満足度) ・区域運行へ切り替えたことで、利用者の46%が外出機会が向上し、外出回数についても切り替え前から約2倍の外出を創出しており、交通弱者等の生活の質の維持向上に効果がでている。	(利用者の満足度) ・回数券の導入や新たな予約方法の導入などを検討し、満足度の維持・向上を図る。
	(収支率) ・区域運行へ切り替えたことに伴い、運行業務に加え予約受付業務、配車システム導入保守等の経費が増加し、収支率の悪化の要因となっている。	(収支率) ・車両のダウンサイジングや委託方法の検討など経費の削減や、新たな収入の検討(車両広告やバス停オーナー制度の導入)、また、運賃の改定等を検討し、収支率の改善を図る。
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・区域運行の実証を続け、新型コロナウイルスの影響が落ち着き、観光客等の利用が活性化されるかデータを収集する。また、回数券を導入し、利用者の利便性を高める。</p>		



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○契約については、見積もり合わせ、入札及びプロポーザル審査による事業者選定を行っており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模で確保されており、妥当であったと考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である利用者から運賃を徴収しており、事業内容から判断しても妥当であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

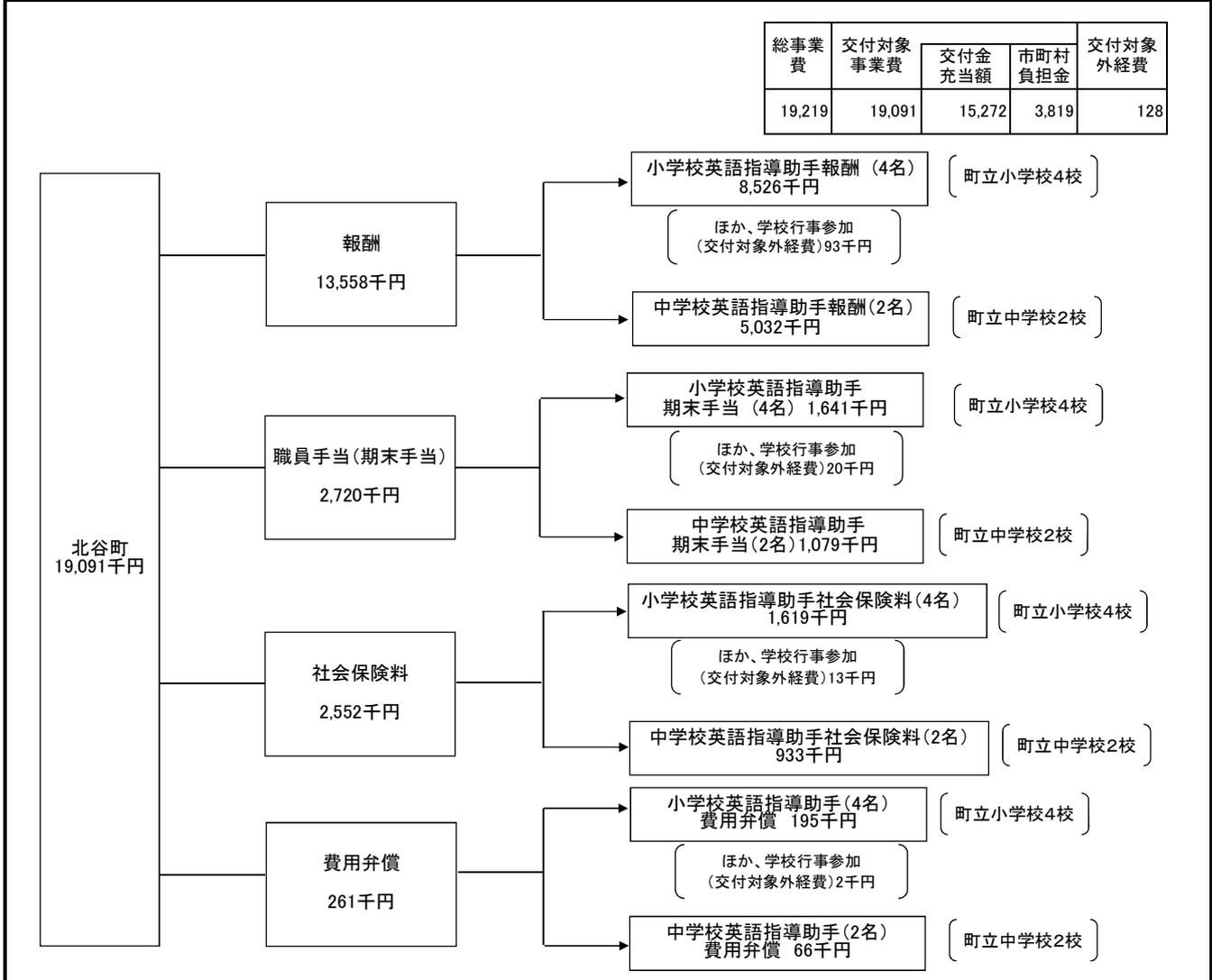
市町村名		北谷町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	英語指導助手派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部署名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	国際化に対応し、産業振興・観光振興に貢献できる資質・能力を持つ人材を育成するため、各小中学校に1名ずつの英語指導助手(AET)を派遣する。						
効果発現年度	■当年度      □後年度(      年度)						
実施方法	■直接実施      □委託      □補助      □負担      □その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	13,360	13,900	14,780	19,097	20,501
	(b)予算現額	14,372	14,634	14,780	18,135	20,501	
	(c)増減額(b-a)	1,012	734	0	▲962	0	
	(d)繰越額	-	-	-	-	-	
	A.計(b+d)	14,372	14,634	14,780	18,135	20,501	
	B.執行済額	13,543	14,129	13,903	17,732	19,091	
	うち交付金充当額	10,500	11,000	11,122	14,185	15,272	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	94.2%	96.5%	94.1%	97.8%	93.1%	
予算の状況の説明	・当初予定していた事業内容について、適正に執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	小学校4名(各校1名、幼稚園兼務)	目標	( AET配置数 4名 )	( AET配置数 4名 )	( AET配置数 4名 )	( AET配置数 4名 )	
		実績	AET配置数4名	AET配置数4名	AET配置数4名	AET配置数4名	
	中学校2名(各校1名)	目標	( AET配置数 2名 )	( AET配置数 2名 )	( AET配置数 2名 )	( AET配置数 2名 )	
		実績	AET配置数2名	AET配置数2名	AET配置数2名	AET配置数2名	
達成状況説明	【幼稚園】小学校の英語指導助手を町立の幼稚園にも兼務として4名配置することができた。 【小学校】町立4小学校に1名ずつ、計4名英語指導助手を配置することができた。 【中学校】町立2中学校に1名ずつ、計2名英語指導助手を配置することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	小学校:児童の英語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	(      )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	(      )
		実績		73.2%	84.3%	82.3%	
	中学校:沖縄県学力到達度調査において、英語の県と本町の平均正答率の差 0.4ポイント以上	目標	(      )	(Δ0.3ポイント以上)	(Δ0.5ポイント以上)	(0.4ポイント以上)	(      )
		実績		3.4ポイント	4.2ポイント	Δ0.8ポイント	
	進捗状況説明	【小学校】 ・英語に関するアンケートの設問において、「英語の授業は好きですか」「聞くことは楽しいか」「話すときは楽しいか」「もっと英語を読めるようになりたいか」「もっと英語を書けるようになりたいか」の5つの興味関心に関する質問に対し、肯定的な回答をした児童(1~6年生)の割合は82.3%と前年度をやや下回ったものの、目標値の80%を上回っている。 【中学校】 ・R3県到達度調査の結果、県平均に対し-0.8ポイントと目標を下回ってしまった。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	【小学校】 ・主たる授業者は学級担任または英語専科教諭(5・6年、北玉小と北谷第二小に配置)であるが、英語指導助手の比重が高い学校があり、連携のための打ち合わせの時間確保だけでなく、一般教諭への英語の授業の進め方についての研修が大切である。	【小学校】 ・英語の時間だけでなく児童が日常的に英語に慣れ親しめるよう、英語指導助手においては授業以外でも児童と積極的にコミュニケーションをとる。 ・一般教諭が自信をもって授業を行えるよう、研修の機会を設ける必要がある。
	【中学校】 ・「スマイルプログラム」等の実施で培われた、コミュニケーション力を基盤とした授業づくりが重要である。	【中学校】 ・今後進学してくる小学生の実態を把握するためにも、小学校への出前授業や授業参観を積極的に行って、小中連携を密にする必要がある。

**今後の取り組み方針**

- ・学級担任主導の授業スタイルを徹底させるために、英語指導助手の役割について教員に理解を深めさせるとともに、各小学校における英語の授業研修を充実させる。
- ・児童が、自分の話す英語が通じる、英語が聞き取れるといった成功経験を積み重ねることで、より英語に慣れ親しませる観点から、英語指導助手が授業以外の場面でも児童に積極的にコミュニケーションをとることを推奨する。
- ・異校種の授業を参観する機会を学校毎に設け、町内の児童生徒の実態把握に努めさせる。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

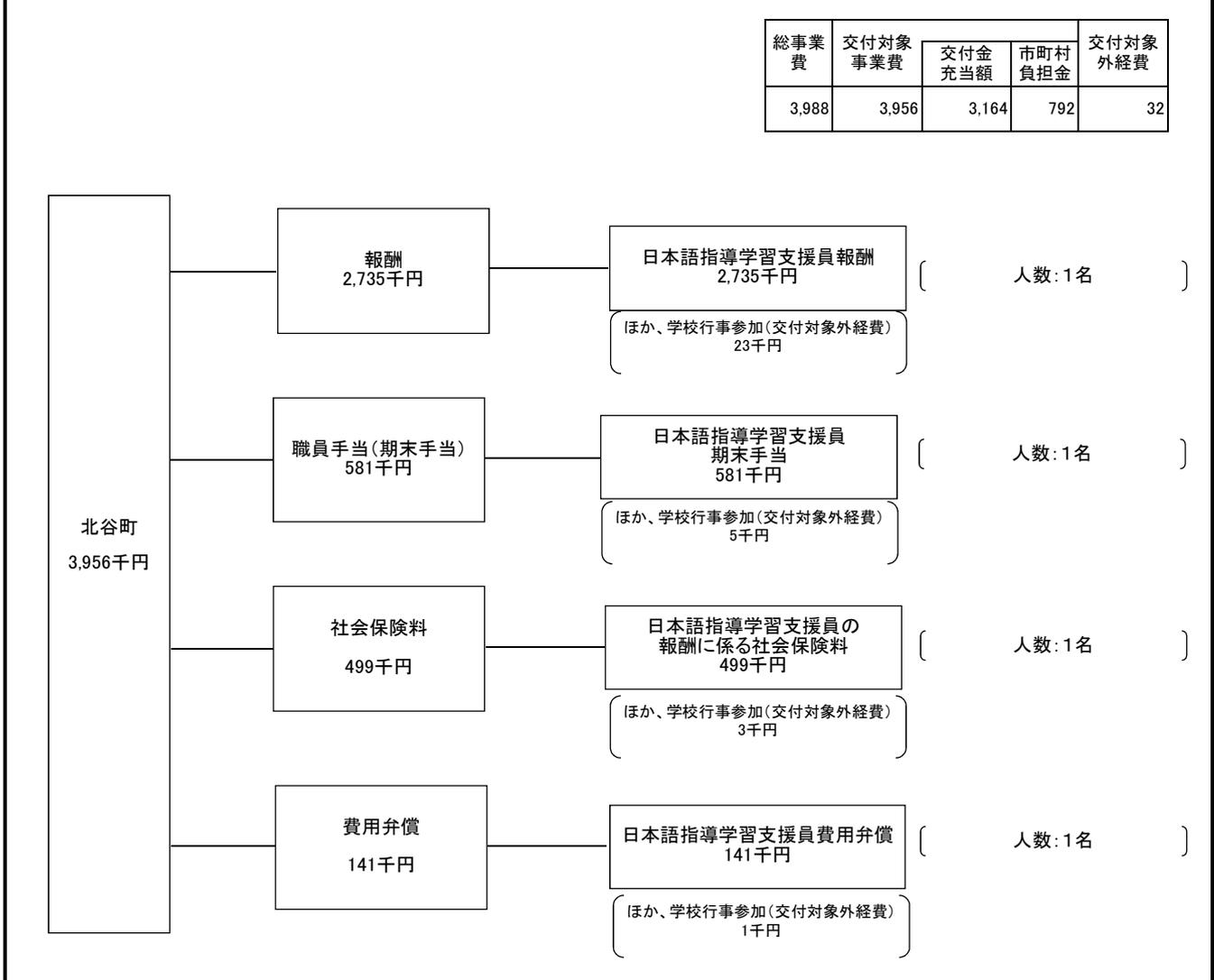


資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○北谷町会計年度任用職員の任用及び配置等に関する要綱に基づき、英語指導助手の業務に適すると認められる者を任用しており、支出先の選定は妥当である。 ○北谷町会計年度任用職員の給与の決定及び支給等に関する規則に基づいた予算であり、適正な規模であった。 ○費用、用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北谷町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	日本語指導学習支援員派遣事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア		
担当部署名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	日本語による会話能力の向上を図るため、日本語指導学習支援員を学校に配置し、日本語十分に理解できない外国籍児童や帰国児童等へ学習支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)				3,222	3,803	4,047
					3,222	3,805	4,047
			0	0	0	2	0
					-	-	
		0	0	3,222	3,805	4,047	
	B. 執行済額				3,140	3,733	3,956
	うち交付金充当額				2,511	2,986	3,164
	次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)				97.5%	98.1%	97.8%
予算の状況の説明		・当初予定していた事業内容について、適正に執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	日本語指導学習支援員配置:1名		目標 (    )	( 配置数1名 )	( 配置数1名 )	( 配置数1名 )	
			実績	配置数1名	配置数1名	配置数1名	
		目標 (    )	(    )	(    )	(    )		
		実績					
達成状況説明	○日本語指導学習支援員を1名委嘱し、町立学校2校に日本語指導教室を設置した。対象児童の実態に配慮し、2校において1週間あたり4日(北谷小14名)と1日(北谷中4名)に分けて指導を行った。 ○年間で18人の児童に対し、日本語指導学習支援員による指導を実施した。個々の日本語習得状況に応じて、1人あたり週1時間～6時間の指導を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合(80%以上)等を含め、本事業のあり方を検証する。		目標 (    )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	(    )
			実績	82%	91.7%	81.7%	
	【参考指標】		目標 (    )	(    )	(    )	(    )	(    )
		実績					
進捗状況説明	・北谷小学校を拠点に、北谷中学校でも日本語指導が必要な生徒に対し指導を行った。 ・日本語教室に通級する児童生徒一人一人の日本語および教科の学習の習得状況を把握し、個に応じた指導を実施した。このことにより、教師や児童生徒との日本語による意思疎通ができるようになり、当該児童生徒の学校生活における困り感が解消されてきている。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語指導を必要とする児童生徒が年々増加し、その中でも日本語初級レベルの児童生徒数も多いことから、個に応じた指導の時間の確保が行えていない。</li> <li>児童生徒の保護者も日本語でのコミュニケーションが不得手なケースが増えてきており、学級担任と保護者の情報伝達が困難な時、担任に代わって保護者と連絡をとる場面が増えてきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語指導教室担当者研修会において、県加配の日本語指導教諭と児童生徒の指導法等について情報交換を行うだけでなく、琉球大学の日本語教育専門の教員から適宜助言をいただき、勤務校での実践に繋げていく。</li> <li>日本語指導教室担当者と学級担任が情報連携を密にし、児童生徒一人一人に応じた日本語指導の課題を早期に把握し、適切な支援策を講じていく。</li> <li>日本語初級レベルの児童生徒への支援を手厚くできる指導体制を構築する。</li> </ul>
	今後の取り組み方針	
<p>・日本語初級レベルの児童生徒が、周囲の児童生徒との意思疎通がうまくいかないだけでなく文化の違いでも困り感を抱えていることから、日本語初級レベルの児童生徒への支援を充実させる。そのために、町の日本語指導員を2名に増員し、県派遣2名の指導教諭と合わせて4名で指導を行う。そのうちの1名を日本語初級レベル担当に位置付け、各校を巡回(またはオンライン)して集中的に指導に当たる体制を構築して、児童生徒の早期の困り感解消に努める。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

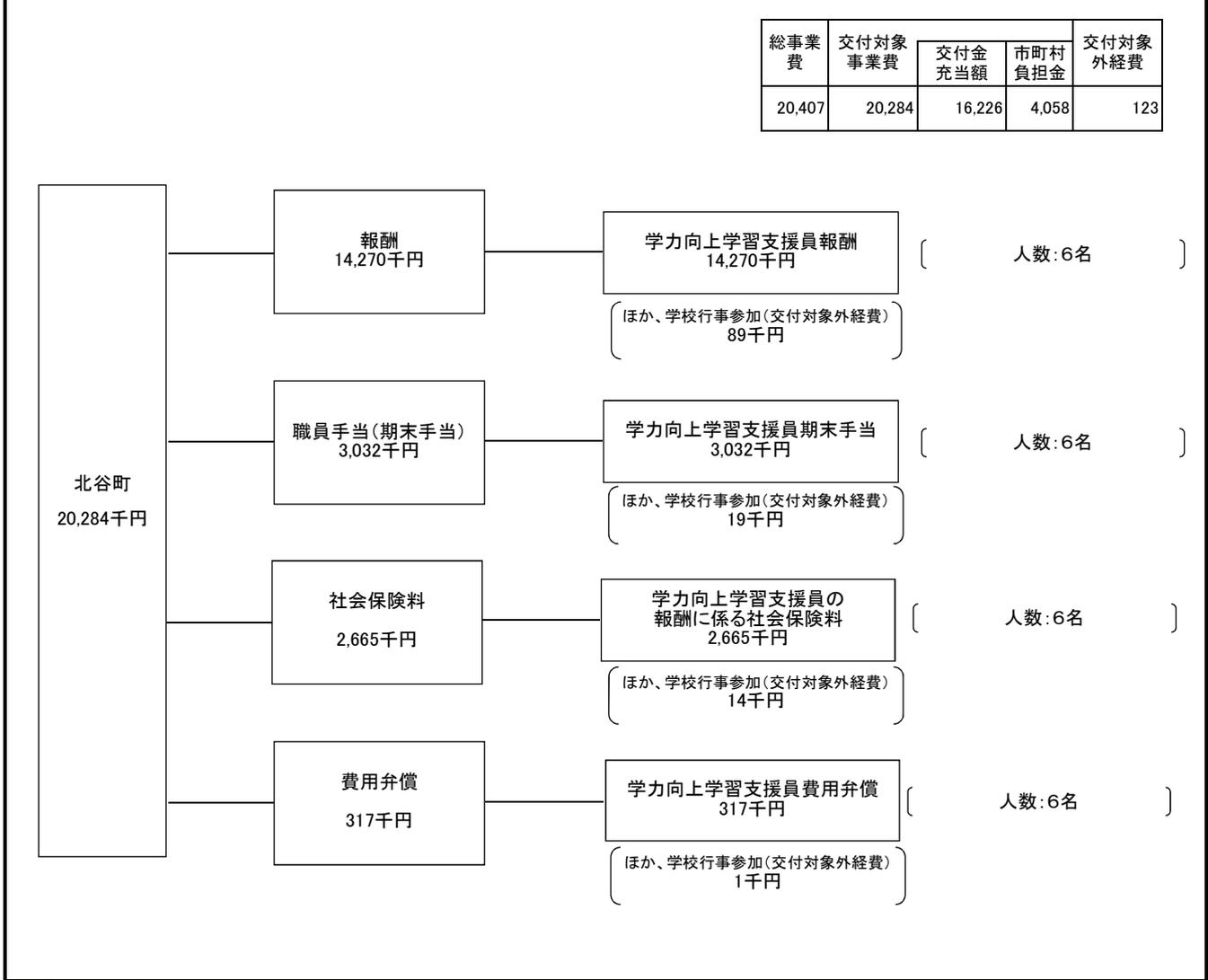


資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○北谷町会計年度任用職員の任用及び配置等に関する要綱に基づき、日本語指導学習支援員の業務に適すると認められる者を任用しており、支出先の選定は妥当である。</p> <p>○北谷町会計年度任用職員の給与の決定及び支給等に関する規則に基づいた予算であり、適正な規模であった。</p> <p>○費用、用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北谷町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③		学力向上学習支援員派遣事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア	
	教育委員会 学校教育課		事業実施(予定)年度	平成26~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	学習に後れを取っている児童生徒に対して、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を配置し、自ら学ぶ意欲を高め、基礎的、基本的な学習内容を理解させることで、学習環境の充実を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	16,387	16,462	16,960	19,404	20,881
	(b)予算現額	16,387	15,868	16,960	19,332	20,881	
	(c)増減額(b-a)	0	▲594	0	▲72	0	
	(d)繰越額			-	-	-	
	A.計(b+d)	16,387	15,868	16,960	19,332	20,881	
	B.執行済額	16,274	15,083	16,095	19,040	20,284	
	うち交付金充当額	12,800	12,000	12,875	15,232	16,226	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.3%	95.1%	94.9%	98.5%	97.1%	
予算の状況の説明		・当初予定していた事業内容について、適正に執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	小学校4名(各校1名)	目標	(配置数4名)	(配置数4名)	(配置数4名)	(配置数4名)	
		実績	配置数4名	配置数4名	配置数4名	配置数4名	
	中学校2名(各校1名)	目標	(配置数2名)	(配置数2名)	(配置数2名)	(配置数2名)	
		実績	配置数2名	配置数2名	配置数2名	配置数2名	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町立小中学校に1名ずつ、計6名配置した。</li> <li>・諸学力調査において中学校数学に課題があるため、小学校では算数科、中学校では数学科の授業を中心に、チームティーチングの授業形態で、教師と協力しながら児童生徒への助言および、理解が不十分な児童生徒を支援し、個に応じたきめ細かな指導の援助を行うことが多い。・学校の実態に応じて、国語科の授業支援も行っている。</li> <li>・各学校で放課後や長期休業において、個別指導を含めた計画的な補習指導にも活用した。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査において、県と本町の平均正答率の差 小学校 0.3ポイント以上	目標	( )	(△0.7ポイント以上)	(△0.4ポイント以上)	(△0.3ポイント以上)	( )
		実績		1.4ポイント	1.6ポイント	0.7ポイント	
	沖縄県学力到達度調査において、県と本町の平均正答率の差 中学校 △0.6ポイント以上	目標	( )	(△1.1ポイント以上)	(△1.0ポイント以上)	(△0.6ポイント以上)	( )
		実績		1.4ポイント	△0.4ポイント	△2.7ポイント	
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上学習支援員が配置されることで、より個に応じた指導を行うことができた。その結果、小学校は県到達度調査において県平均に対し+0.7ポイントと目標を上回る事ができた。</li> <li>・中学校は県平均に対し-2.7ポイントと、設定した目標を下回る結果となった。</li> </ul>					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援員配置の効果としては、①学習において困り感を抱えている児童生徒に対して、丁寧な支援を行った。②諸学力調査の結果や教師の指示に基づき、各単元で落ち込んでいる項目を把握し、児童生徒が学習に取り組みやすくなる視点での教材・教具の作成を行った。などが挙げられる。</li> <li>・中学校においては、小学校の段階で学習内容の定着が十分でない単元がみられ、学年が上がるにつれ学力の二極化が進んでいる状態で中学に進学し、それがより顕著になることが考えられる。</li> <li>・学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」のある授業が求められている。その基盤となる人間関係づくりについて、学習支援員もそれを踏まえた支援の在り方を念頭に置いて指導に当たる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸学力調査の結果分析に基づき、児童生徒が苦手としている単元や分野等を中心に配置するようになってきている。今後は、学びの基礎となる小学校低学年への配置及び支援を増やすなど、校内における支援員の配置計画に工夫が必要であるとともに、小学校においても中学校への学びの繋ぎを見据えた指導の在り方が必要である。</li> <li>・児童生徒が授業に意欲的に取り組めるような手立ての講じ方や声かけの仕方について、教員同様研修を深める必要がある。</li> </ul>
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校の管理職や学力向上推進担当に対し、町内の児童生徒の学力定着に関する現状と課題を伝えるだけでなく、校内における支援員の配置計画の見直しが必要であるとともに、小学校においても中学校への学びの繋ぎを見据えた指導の在り方が必要であることを伝える。</li> <li>・年3回(4月、7月、12月)町学力向上学習支援員研修会を実施するが、その際、町の施策や児童生徒の課題について説明して理解を深めさせ、授業改善を教師とともにやっていくという視点や気概をもたせる。</li> <li>・現在の学力向上学習支援員の取組を維持しつつ、義務教育9か年を意識した、児童生徒の学ぶ意欲を喚起できるような声かけや関わり方について研修等を通して学ばせ、行動に移していく。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○北谷町会計年度任用職員の任用及び配置等に関する要綱に基づき、学力向上学習支援員の業務に適すると認められる者を任用しており、支出先の選定は妥当である。</li> <li>○北谷町会計年度任用職員の給与の決定及び支給等に関する規則に基づいた予算であり、適正な規模であった。</li> <li>○費用、用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北谷町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④	スクールソーシャルワーカー派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア	
担当部署名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成26~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進	
事業内容	スクールソーシャルワーカーを配置し、小中学校を巡回させ、児童生徒のおかれた様々な環境の問題(家庭、友人環境等)に働きかけ、問題を抱える児童生徒に対して問題行動の未然防止、早期発見、早期対応に努める。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	3,477	3,489	3,555	4,063	4,294
	(b) 予算現額	3,477	3,475	3,555	4,063	4,294	
	(c) 増減額(b-a)	0	▲ 14	0	0	0	
	(d) 繰越額			-	-	-	
	A. 計(b+d)	3,477	3,475	3,555	4,063	4,294	
	B. 執行済額	3436	3449	3,528	4,000	3,929	
	うち交付金充当額	2500	2500	2,822	3,200	3,142	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	98.8%	99.3%	99.2%	98.4%	91.5%	
予算の状況の説明		・当初予定していた事業内容について、適正に執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	スクールソーシャルワーカー配置:1名		目標 ( 配置:1名 )	( 配置:1名 )	( 配置:1名 )	( 配置:1名 )	
			実績 配置:1名	配置:1名	配置:1名	配置:1名	
		目標 ( )	( )	( )	( )		
		実績					
達成状況説明	○平成26年度からスクールソーシャルワーカーを教育委員会内に1名配置し、児童生徒や学校、保護者への対応を充実させている。 ○児童生徒や保護者の困り感(いじめ、不登校、情緒的不安、経済的不安等)に、相談活動を通して適宜助言を与えたり、心の拠り所にさせたり、必要があれば関係機関を紹介、繋ぐといった活動を行った。 ○定期的に中学校の生徒指導部会、各学校の個に応じたケース会議に参加し、対応方法の助言を行うだけでなく、収集した情報を関係各課と共有して、問題解決へと繋げる役目を果たしている。 ○本町が進める学びのプロジェクトの取組、スマイルプログラム(人間関係のスキルの構築に係る取組)に関する町内の教職員を対象とした研修会において講師を務め、各教師に取組内容の周知、取組方法の実習等の指導を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	町立小中学校の問題行動(暴力、金銭せびり、喫煙、飲酒、家出)の件数		目標 ( )	小学校8件以内 中学校18件以内	小学校8件以内 中学校17件以内	小学校9件以内 中学校15件以内	( )
	・小学校 9件以内 ・中学校 15件以内		実績	小学校22件 中学校6件	小学校2件 中学校8件	小学校18件 中学校10件	
	【参考指標】		目標 ( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	○問題行動は小学校、中学校ともに件数が増加しているが、中学校においては目標以内に件数を抑えることができた。また、スクールソーシャルワーカーが関わることで早期発見、早期解決に繋がったケースが複数あった。 ○年3回の町立小・中学校への生徒指導訪問にスクールソーシャルワーカーを同行させ、気になる児童生徒への初期対応や、課題解決に向けた組織的な取組について助言を行った。 ○町校長会、教頭会等でも児童生徒との接し方や保護者対応についての講話を行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○本事業が複数年継続することで、スクールソーシャルワーカーの存在や役割が児童生徒や学校、保護者に浸透し、相談しやすくなっているだけでなく指導や助言が受け止められる信頼関係が構築されてきている。</p> <p>○問題行動は、小・中学校ともに前年度より増加しているが、スクールソーシャルワーカーとの連携が図られてきていることもあり、学校からの早期発見による報告件数が増えている。スクールソーシャルワーカーの関わりで発見した事例もあり、また、関係各所と積極的に連携をとることで重大事態に至らなかった事例も複数ある。</p>	<p>○新たに赴任してきた職員に対し、全体研修会や各学校単位での校内研修会等で、管理職を始め先生方への対応を今後も充実させて取り組んでいく。</p> <p>○従来の教師が指導して解決するスタイルから、児童生徒が自らの行動を振り返り改善を図ろうとする態様への変容が求められている。そのためにも、スクールソーシャルワーカーの力を借りて、児童生徒自ら問題を発見し、話し合い等を通して問題を解決していくためのプログラムを作成し、教師、児童生徒に新たなスキルを定着させることが必要である。</p> <p>○校内就学支援委員会の段階でスクールソーシャルワーカーが必要な情報を提供することで、児童生徒の発達の特性に応じた適切な指導・支援を受けられるような支援体制の構築に取り組んでいく。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>○各小・中学校に配置された心の教室相談員とスクールソーシャルワーカーとの連携を図り、困り感を持つ保護者にもペアレントトレーニング等で対応を図り、困り感の解消や問題解決に繋げていく。また、ペアレントトレーニングの講師養成に向け、スクールソーシャルワーカーが心の教室相談員の指導に携わることで、人材育成及び講座の充実を図る。</p> <p>○課題を抱える児童生徒に対して、自尊感情を高めると共に自己指導能力を育てていく。そのために、指導の共有・浸透を図り、スクールソーシャルワーカーが提供するチェックリスト及び面談シート等の活用推進を今後も行っていく。また今後は、児童生徒自ら問題を発見し、話し合い等を通して問題を解決していくためのプログラムの作成及び波及のための研究会を立ち上げる予定である。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
			交付金充当額	市町村負担金	
	3,929	3,929	3,142	787	0

北谷町 3,929千円	報酬 3,011千円	スクールソーシャルワーカー報酬 3,011千円	{	人数:1名	}
	職員手当(期末手当) 640千円	スクールソーシャルワーカー 期末手当 640千円	{	人数:1名	}
	社会保険料 212千円	スクールソーシャルワーカーの 報酬に係る社会保険料 212千円	{	人数:1名	}
	費用弁償 66千円	スクールソーシャルワーカー 費用弁償 66千円	{	人数:1名	}

資金の用途の流れ・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○北谷町会計年度任用職員の任用及び配置等に関する要綱に基づき、スクールソーシャルワーカーの業務に適すると認められる者を任用しており、支出先の選定は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○北谷町会計年度任用職員の給与の決定及び支給等に関する規則に基づいた予算であり、適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用、用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北谷町						
<b>令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	3-①	跡地利用推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-ア		
担当部署名	総務部 企画財政課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	早期の事業着手に向けた取組		
事業内容	今後返還が予定される駐留軍用地の有効かつ適切な跡地利用計画策定に向けた跡地利用推進調査及び地権者に対する説明会等を実施する。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和8年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	18630	17,090	15,679	23,265	19,657
		(b)予算現額	14278	15,001	15,679	10,000	19,657
		(c)増減額(b-a)	▲4,352	▲2,089	0	▲13,265	0
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	14,278	15,001	15,679	10,000	19,657
		B.執行済額	14277	15001	13860	4,693	18,150
		うち交付金充当額	11400	12000	11088	3,754	14,520
		次年度繰越額	0	0	0	0	
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	88.4%	46.9%	92.3%
	予算の状況の説明	不用額1,507千円は入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	キャンプ桑江南側:地権者への継続的な情報提供	目標	( )	( )	( )	( 実施 )	
		実績				実施	
	キャンプ瑞慶覧倉庫地区:地権者意見交換会の開催、跡地利用事業計画書(案)の検討	目標	( )	( )	( )	( 実施 )	
		実績				実施	
	桑江第一タンクファーム地区:跡地利用計画基礎調査	目標	( )	( )	( )	( 実施 )	
		実績				実施	
	キャンプ瑞慶覧インダストリアル・コリドー地区:跡地利用計画基礎調査	目標	( )	( )	( )	( 実施 )	
		実績				実施	
達成状況説明	(キャンプ桑江南側地区) ・先行取得事業における実績報告などを「まちづくりニュース」として地権者へ情報提供を行った。 (キャンプ瑞慶覧倉庫地区) ・跡地利用に関する情報提供及び意見交換を目的とした地権者意見交換会(2回)、地権者勉強会(3回)及び地権者説明会(1回)や、令和2年度に策定した跡地利用基本計画について、施工に関係する河川、国道、土砂災害等の与条件の整理及び検討を踏まえた更新を行った。 (桑江第一タンクファーム地区) ・跡地利用計画基礎調査を実施し、跡地利用方針案の検討を行った。 (キャンプ瑞慶覧インダストリアル・コリドー地区) ・跡地利用計画基礎調査を実施し、跡地利用方針案の検討を行った。						

R3成果目標(指標)		基準値	R1年度	R2年度	R3年度	目標値
		(年度)	(年度)	(年度)	(年度)	(年度)
(キャンプ瑞慶覧倉庫地区) 事業計画(案)の作成	目標	( )	( )	( )	(完了)	( )
	実績	/			完了	/
(桑江第一タンクファーム地区) 調査内容報告書の作成	目標	( )	( )	( )	(完了)	( )
	実績	/			完了	/
(キャンプ瑞慶覧インダストリアル・コリドー地区) 調査内容報告書の作成	目標	( )	( )	( )	(完了)	( )
	実績	/			完了	/
【R3成果目標】(キャンプ瑞慶覧倉庫地区) 跡地利用計画計画策定後、当該跡地利用計画 に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な 評価」80%以上	目標	( )	( )	( )	(80%以上)	(80%)
	実績	/			89.4%	/
進捗状況説明	<p>(キャンプ瑞慶覧倉庫地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>跡地利用に関する情報提供及び意見交換を目的とした地権者意見交換会(2回)、地権者勉強会(3回)及び地権者説明会(1回)や、令和元年度に策定した基本計画図(3案)について、施工に係る河川、国道、土砂災害等の与条件の整理及び検討を踏まえた更新を行った。</li> <li>令和元年度に策定した基本計画図(3案)について、選定には至っていないが、組合施行による土地区画整理事業の方向性で進んでいることから、基本計画図(3案)のうち組合施行による土地区画整理事業の2案について、整備計画(案)の作成を行った。また、土地区画整理組合の前身となる発起人会立ち上げのため、理事及び監事に名乗りを挙げる地権者(発起人)が複数名おり、次年度以降は発起人を起点とした合意形成を図るとともに、区画整理調査等を行っていく。</li> <li>上記の通り当計画図の選定までには至らなかったが、当該地区の跡地利用に対して土地区画整理事業は適当であるか、本町ホームページにてアンケート調査を実施。調査の結果、89.4%の「肯定的な評価」を得た(回答者住所不明のため県民でない可能性も有り)。</li> </ul> <p>(桑江第一タンクファーム地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>跡地利用計画基礎調査の実施及び跡地利用方針案の検討を行い、報告書を作成した。</li> </ul> <p>(キャンプ瑞慶覧インダストリアル・コリドー地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>跡地利用計画基礎調査の実施及び跡地利用方針案の検討を行い、報告書を作成した。</li> </ul>					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
<p>(キャンプ瑞慶覧倉庫地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当該地区は河川改修工事、国道拡幅、土砂災害、ポンプ場の移設、変電所等、複数の関係機関がいることから、本事業を円滑に進めるため、それぞれの事業スケジュールの把握及び調整が必要となる。</li> <li>基本計画(3案)の選定、これまでの地権者の意向を踏まえた整備計画の策定および合意形成が課題である。</li> <li>新型コロナウイルスの影響により、地権者説明会が予定通り開催できなかった。現時点で収束の目途が立たないため、地権者への周知活動に問題が生じる。</li> </ul>	<p>(キャンプ瑞慶覧倉庫地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度で作成した2パターン(案)の整備計画(案)を基に、地区内の測量調査を踏まえて整備計画を更新し、引き続き地権者との協議を行い、当該地区の有効な跡地利用の促進を図る。</li> </ul>

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関協議にてさらに詳細な整備時期等の調整に向けて協議を継続する。</li> <li>今年度で作成した2パターン(案)の整備計画(案)を基に、地区内の測量調査を踏まえて整備計画を更新し、地権者の合意を得て整備計画を策定する。</li> <li>新型コロナウイルスの影響により全地権者を一堂に会することが困難であれば、発起人による戸別訪問を実施し状況説明、周知するなど、組合施行による土地区画整理事業に向けて機運醸成を図る。これに連携し、本町としても地権者に寄り添いながら、今後も支援を行っていく。</li> </ul>

資金の流れ											
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18,150</td> <td>18,150</td> <td>14,520</td> <td>3,630</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	18,150	18,150	14,520	3,630	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費							
18,150	18,150	14,520	3,630	0							
<p>北谷町 18,150千円</p>	<p>委託料 18,150千円</p> <p>玉野総合コンサルタント 株式会社 沖繩支店 18,150千円</p>										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ更新データを作成</li> <li>まちづくりニュース発行</li> <li>先行取得事業支援業務</li> <li>跡地利用基礎調査</li> <li>跡地利用方針案の検討</li> <li>地権者説明会開催補助</li> <li>地権者意見交換会開催補助</li> <li>地権者勉強会開催補助</li> </ul>										

資金の流れ、点検、評価項目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、点検、評価項目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、指名競争入札で選定されており、選定方法は妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模で確保されており、妥当である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用、使途については業務完了後に検査を実施しており、目的に即し適正なものであったと判断した
	○	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北谷町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	里海プロジェクト事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)		
担当部署名	教育部 文化課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にす島を目指して Ⅲ-10-(1)		
事業内容	北谷町沿岸には豊かなりーフや自然海岸が存在し、本島中南部西海岸では非常に貴重になりつつある沖縄の原風景が残されている。しかし、この自然の豊かさを評価するための基礎情報が不足している。そこで本事業では、残された自然を保全し活用するために必要な沿岸に生息する生物の全体把握を行うことを目的とする。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	16,995				
		(b)予算現額	16,995				
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)	16,995	0	0	0	0	
	B.執行済額	16,775					
	うち交付金充当額	13,420					
	次年度繰越額	0				0	
	執行率(%) (B/A)	98.7%					
予算の状況の説明	当初予定していた事業内容について、適正に執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	北谷町沿岸環境保全利用調査報告書の作成	目標	北谷町沿岸環境(保全利用調査報告書の作成)	( )	( )	( )	( )
		実績	完了				
			目標	( )	( )	( )	( )
		実績					
達成状況説明	北谷町沿岸環境保全利用調査報告書を作成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(R4年度)
	北谷町沿岸環境保全利用調査報告書の作成の完了	目標	( )	(完了)	( )	( )	( )
		実績		完了			
	【R4成果目標】		目標	( )	( )	( )	(80%)
	パネル展示等により、保全意識が高まったか。(アンケートで「保全意識が高まった」と答えた割合)		実績				
進捗状況説明	当初の予定通り北谷町沿岸全域の調査を終え、報告書の作成を完了した。						

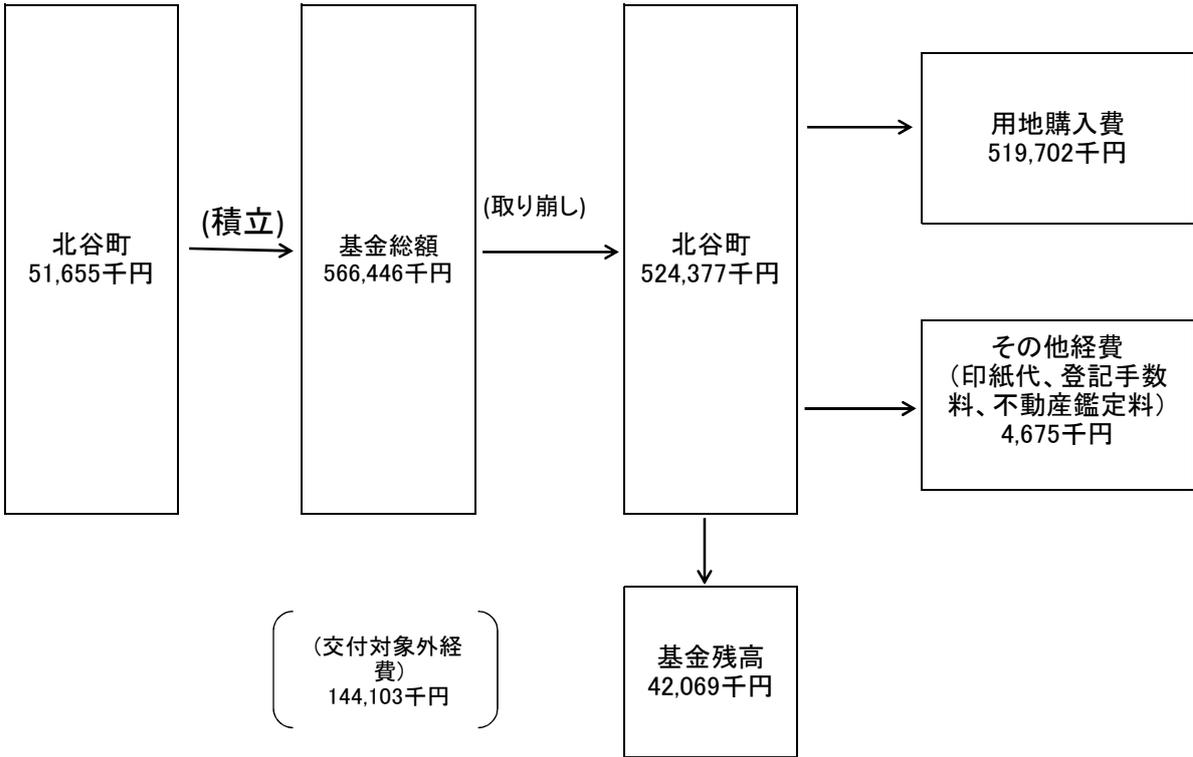


市町村名		北谷町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-① 北谷町特定駐留軍用地内土地取得基金事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(13)-ア		
	担当部署名	総務部 企画財政課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	早期の事業着手に向けた取組 Ⅲ-8	
事業内容	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な跡地利用を推進するため、基金を活用して特定駐留軍用地内の土地の先行取得を実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度( 年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	273,250	400,000	143,829	31,584	51,655
		(b) 予算現額	391,250	700,000	143,829	194,785	51,655
		(c) 増減額(b-a)	118,000	300,000	0	163,201	0
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	391,250	700,000	143,829	194,785	51,655
		B. 執行済額	391,250	700,000	120,699	157,045	51,655
		うち交付金充当額	311,300	557,900	96,559	125,636	41,324
		次年度繰越額	0	0			
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	83.9%	80.6%	100.0%
予算の状況の説明		当初予定していた事業内容について、適正に執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	基金の積立	目標	( 基金の積立 )	( 基金の積立 )	( 基金の積立 )	( 基金の積立 )	
		実績	700,000千円	120,699千円	157,045千円	51,655千円	
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	基金の積立額については、51,655千円を積立した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
		目標	( )	( )	( )	( 100% )	( )
	実績				92%		
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	土地取得は7,560㎡(92%)となり、目標値の達成とはならなかった。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	目標値未達成の要因として下記の事項が上げられる。 ・地権者より売買契約直前に取下げの申し出あり。 ・当該地区での先行取得は令和3年度で8年目となり、売却意向の地権者の減少も考えられる。	昨年度に引続き戸別訪問を行うとともに、買取申出期間の延長を検討する。
今後の取り組み方針		
買取申出期間後に問い合わせあった地権者を中心に戸別訪問を行い、機会の損失を防ぐことで、目標面積の取得を目指す。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
195,758	51,655	41,324	10,331	144,103



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○基金積立事業であり、預入先などの選定は基金運用検討委員会にて適切に行っており、妥当であると考えている。 ○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模で確保されており、妥当である。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により、確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	